

産地戦略

実施期間 令和6～10年度

実施主体 群馬県（藤岡地区農業指導センター）
都道府県 群馬県
対象地域 藤岡市、高崎市吉井町・新町
対象品目 露地ナス



新たに取り入れる環境にやさしい栽培技術の分類

● 化学農薬の使用量の低減	温室効果ガスの削減（水田からのメタンの排出削減）	温室効果ガスの削減（プラスチック被覆肥料対策）
化学肥料の使用量の低減	温室効果ガスの削減（バイオ炭の農地施用）	温室効果ガスの削減（省資源化）
有機農業の取組面積拡大	温室効果ガスの削減（石油由来資材からの転換）	温室効果ガスの削減（その他）

目指す姿

多野藤岡地域は露地ナス栽培が盛んで化学農薬を主体とした防除が主であるが、アザミウマ類やハダニ類など微小害虫の薬剤抵抗性の発達により、化学農薬散布回数の増加、虫害による品質低下が問題になるなど、従来の防除体系を見直す時期に来ており、本事業を活用して化学農薬を削減した新たな防除体系を普及し、この地域の露地ナス生産がグリーンな栽培体系へ転換していくサポートをする。

現在の栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	定植	収穫											
	化学農薬による病害虫防除												

グリーンな栽培体系

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
主な作業名	定植	収穫											
	選択性化学農薬による病害虫防除												
天敵利用	マリーゴールド 栽培	天敵製剤 放飼	ほ場観察による病害虫発生予察										

グリーンな栽培体系等の取組面積の目標

	現状R5	目標R10	備考
（参考）対象品目の作付面積（ha）	23	23	
グリーンな栽培体系の取組面積（ha）	0.32	5	

環境にやさしい栽培技術・省力化に資する技術の概要

〈技術の内容・効果〉

分類	産地の慣行	新たに取り入れる技術	期待される効果
環境 省力	化学農薬のみの防除	▶ 天敵資材を活用したIPM	化学農薬の使用回数の削減 薬剤抵抗性の発生リスク軽減

〈技術の効果の指標・目指すべき水準〉

分類	指標	現状	目指すべき水準	備考
環境 省力	化学農薬の成分数	34	26	殺ダニ剤8回→2回に削減

* 環境にやさしい栽培技術のうち化学農薬・化学肥料の使用量の低減および省力化に資する技術については、原則、検証結果を踏まえて効果の指標・達成すべき水準を設定する（有機農業の取組面積拡大、温室効果ガスの削減に資する技術については、当該欄の記載は任意とする）
* 化学農薬の使用量の低減については、どの剤の使用量を削減するのか、どの剤からどの剤へ切り替えるのが分かるように記載する

グリーンな栽培体系の普及・定着に向けた取組方針

天敵製剤や土着天敵を活用した防除マニュアルの実践に取り組み、露地ナスにおいて化学農薬使用回数を削減した環境にやさしい栽培の定着を図る。

関係者の役割

関係者名	藤岡地区農業指導センター	JAたのふじ	アリストライフサイエンス(株)	群馬県（国窓口）
役割	マニュアル実践指導	農業者との調整等	情報提供等	産地取組支援